信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

資料１－５

（北陸地整～新潟市）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					北陸地整			北陸農政局			中越森林管理署			新潟水源林整備事務所			新潟地方気象台			新潟県			新潟市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
１．被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）																									
	■被災施設等の迅速な復旧																								
		堤防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧		－	令和元年東日本台風を受け、護岸崩壊や堤防漏水等の１２箇所で施設被害が発生したことから災害復旧工事を実施 １２箇所全てで復旧を完了	【短期】R元年度から実施 完了	○													魚沼地区ではR元年度に3回の河川災害が発生したが、現時点で河川災害復旧工事は完了した。 十日町地区で被災した護岸の復旧工事を実施中。 魚沼地区はR2年度中に完了予定。 信濃川ではR2年度中に5箇所の復旧が完了 信濃川ではR3年度中に全11箇所の復旧が完了予定。	【短期】R元年度から実施し完了 引き続き実施	○			
	■河川水位の低下及び洪水流下断面を向上させるための取組																								
		遊水地等の洪水調節施設の整備	遊水地の整備	①	小千谷市において、下流の水位を低減させるための遊水地を２箇所整備する。 遊水地整備に向け、現地調査、設計、計画、地元説明等を実施中	【短期】R2年度から実施 令和６年度整備完了を目指す	○																		
		洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進	大河津分水路の改修	①	中流域最大のボトルネックとなっている大河津分水路河口部の狭窄部を解消するための、山地部掘削や第二床固改築等の事業を推進。 事業効果の早期発現に向け、引き続き整備を推進する。	【中期】H27年度から実施 引き続き実施	○																		
			河道掘削 樹木伐採	①	戦後最大規模の洪水等を流下させるための樹木伐採・河道掘削を実施。 短期的には、緊急治水対策プロジェクトとして、長岡市渡部～藤沢町、小千谷市東栄～木津地区等において、洪水時の水位を低減するための河道掘削を実施する。 令和３年度は長岡市緞下～西蔵王地区及び小千谷市東栄～木津地区河道掘削を実施。引き続き整備を推進する。	【長期】R2年度から実施 短期的整備について令和６年度整備完了を図る	○																		
			築堤	①	戦後最大規模の洪水等を流下させるための堤防整備を実施。 H26年度から小千谷市塩殿地区、川井地区、岩沢地区の３地区において、堤防からの越水に伴う家屋部の浸水を防止するための堤防整備を実施。 ・緊急治水対策プロジェクトとして実施する３地区（塩殿・川井・岩沢地区）の堤防整備を令和３年度末完了。その他、引き続き堤防断面不足箇所の解消を図る。	【長期】 引き続き実施	○													家屋部の浸水を防止するために、信濃川の8地区において築堤。 全8地区において築堤に向けた取組を実施中。 3地区については、R2年度中に築堤工事着手。 引き続き築堤工事を実施。	【中期】H29年度から実施 引き続き実施	○			
	■施設規模を上回る洪水に対する取組																								
		危機管理型ハード対策	堤防裏法尻の補強・天端舗装	②	R1年度から長岡市黒津町地区、浦地区、妙見町地区、南魚沼市水尾新田地区において危機管理型ハード対策を実施。 長岡市黒津町地区、浦地区、妙見町地区については R2年度に整備完了 南魚沼市水尾新田地区については R3年度に整備完了。	【短期】 対象箇所の整備完了	○																		
	■既存施設を活用した洪水被害軽減対策																								
		堤防の強化（浸透対策等）	堤防の強化	①	浸透等の作用に対する堤防の安全性を確保するための堤防強化を実施。 R1年度から長岡市寺泊新長地区、燕市新長地区において、堤防の漏水対策を実施する。 長岡市寺泊新長地区：R3年12月末までに、樋門の改築等を行う一部区間を除き完成 燕市新長地区：R4年出穂期前までに完成予定 令和3年度は長岡市水梨地区、小千谷市千谷地区、魚沼市徳田地区において浸透対策実施。	【長期】 引き続き実施	○																		
		既存の排水機場、ダム、堰などの河川管理施設について、更なる洪水被害軽減の可能性に着いて検討を行うとともに、必要な対策を実施	既存ダムの事前放流を伴う治水協力	④	R1年度から、信濃川水系に設置されているダムについて、利水ダム管理者等との間において事前放流を実施するための体制構築を実施する。 ・三国川ダムは、利水事業者と事前放流について協議し、事前放流実施要領を策定済み 利水ダム管理者等との間において、事前放流に関する協定を信濃川水系（中流部）にある２０の利水ダム等と令和２年５月２９日に締結、運用中。令和３年９月に、既存ダムの更なる洪水調節機能強化に向けた取り組みの推進に向け、「信濃川水系（中流部）ダム洪水調節機能協議会」を設立。	【長期】 協定に基づき、引き続き運用	○														破間川ダムは、利水事業者と事前放流について協議し、事前放流実施要領を策定中。 同上	【短期】R2年度に完了予定 同上	○			
			既存の堰等の洪水時における操作改定		大河津洗堰の運用規則変更による、洪水時の緊急的な放流の実施検討 令和２年度は洪水時に洗堰下流へ洪水の一部を放流できるよう運用を変更。	【長期】 変更後の運用に基づき、操作を実施																			
	■河道・河川管理施設等の適切な維持管理																								
		堤防や堰、水門等の適切な維持管理		－	堤防や堰、水門等の定期的な点検を実施し、必要な維持修繕を実施する。 定期的な点検を実施し、点検の結果に基づき必要な維持修繕を実施している。	【長期】 引き続き実施 引き続き実施	○														川西ダム、長福寺ダム、坪山ダム、松葉沢ダムについては水利使用規則により年１回の堆砂量調査を実施している。 堆積土砂の撤去については、堆砂量の増加状況を見ながら対応できる事業及び事業の実施を検討する。 五十嵐川下流部護岸工の耐震化、護岸補強等を実施する。	【長期】 【短期】R4～R6に実施（予定）				

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

資料１－５

（北陸地整～新潟市）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					北陸地整			北陸農政局			中越森林管理署			新潟水源林整備事務所			新潟地方気象台			新潟県			新潟市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		河道内の堆積土砂の撤去、樹木の植生管理		－	河道掘削・樹木伐採を実施 支川から排出された堆積土砂や、河川管理上支障となっている樹木伐採について実施中。	【長期】引き続き実施 引き続き実施	○													防災・減災、国土強靭化のための5か年緊急対策加速化対策で河床掘削、伐木を予定(以下「重要インフラ緊急対策」)で河道内の堆積土砂の撤去、樹木の伐木を実施。 R2年度に信濃川の堆積土砂を撤去。	【中期】引き続き実施 R2年度完了	○			
２．地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）																									
■支流の流出抑制の取組																									
		雨水貯留施設、田んぼダム、透水性舗装の整備等	公園、校庭等の雨水貯留施設の整備	－																			学校グラウンドからの雨水流出を抑制するため、雨水貯留施設を整備 概ねの学校グラウンドには雨水貯留施設を整備完了	引き続き適正な維持管理を実施	－
			田んぼダムの推進	－				・県、市町村と連携し、田んぼダムの普及啓発に取り組んでいる。	・引き続き実施	－										・地域の自発的な共同活動として行う流出抑制の「田んぼダム」の取組について、市町村等と連携し普及啓発に取り組んでいる。 有効な協力の呼びかけ方法、周知も含め実施を検討する市への支援	継続 引き続き検討		田んぼダムの利活用促進 田んぼダムの取組み面積の拡大に向けた普及啓発	引き続き実施	－
			浸透性舗装、側溝、ますの設置	－																					
			各戸貯留施設の費用補助	－																			各戸からの雨水流出を抑制するため、雨水浸透桝や雨水貯留施設の設置費に対する助成制度 設置助成を実施中	引き続き実施	－
■支川氾濫抑制、内水被害を軽減する取組																									
		支川水路における氾濫抑制対策	河道掘削	①																					
			雨水渠の流下能力増強																						
		排水機場の整備	排水機場の整備、増設	㉔																【農地】湛水被害を防止するため、施設の機能向上や、地盤沈下により機能が低下した施設の機能回復など、重要度・緊急度に応じた整備や、既存施設の長寿命化を図る。 ・農業用排水施設の新設、廃止又は変更を実施するもの 【南魚沼地域】 ほ場整備事業　3地区 ため池改修事業　1地区	継続 継続		・雨水ポンプ場施設を整備 ・排水機場の耐水化 ・信濃川へ排水する雨水ポンプ場の調査・設計及び関係者協議を進める。ポンプ場流入幹線の工事実施中。 ・排水機場更新のタイミングに合わせて耐水化を実施	引き続き整備を実施	－
			放流先の見直し	㉔																					
			排水ポンプ車等の整備	㉔	R2年度から緊急排水ポンプ車・照明車等の増設 長岡市左近地区に災害対策車両基地を新規で整備。排水ポンプ車２台、照明車２台を新たに配備	【短期】 完了	○																		

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

資料１－５

（北陸地整～新潟市）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					北陸地整			北陸農政局			中越森林管理署			新潟水源林整備事務所			新潟地方気象台			新潟県			新潟市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		排水機場の耐水化の推進	排水機場の耐水化	㉔				今後更新される排水機場については、耐水化等の対策を検討する。	引き続き実施	－										・ポンプ施設、ゲート施設を整備・管理する。 【農地】排水機場の耐水化を図るため、更新を含めた事業化が計画されている排水機場について、関係機関と調整、検討していく。	【中期】順次実施	○	排水機場の耐水化		－
																				【河川】大平沢川排水機場の老朽化対策（R5年度完成予定）と合わせて耐水化を図る。与板排水機場他4排水機場の老朽化で耐水化を含めて検討予定。 【農地】R4年度は1施設を整備（新長排水機場）。その他、排水機場については引き続き調整、検討。	引き続き実施		排水機場更新のタイミングに合わせて耐水化を実施	引き続き実施	
	■大規模災害時における迅速な復旧支援の取組																								
		緊急復旧などを迅速に行う防災拠点等の整備	河川防災ステーション等の整備	㉕	河川防災ステーションや資機材を備蓄する拠点等の整備を実施する。 現在、長岡地区における河川防災ステーション整備を検討	【長期】	○																水防センターの整備を行う。 （新潟市江南区天野地区）	【短期】R１～R４予定	－
					令和３年度より長岡河川防災ステーション（長岡市信濃地区及び左近地区）の整備に着手。左近町においては令和３年６月に災害対策車両基地を整備	引き続き実施																	天野河川防災ステーション内において、水防センターの整備を実施中	引き続き実施	
			大規模水害時において大型車両等が通行可能なアクセス網の整備		大規模水害時の復旧活動等を円滑にするため、堤防沿いや近傍において大型車輌等の通行や住来が可能なアクセス経路を確保する	【長期】	○																		
					必要な区間や堤防拡幅が可能な区間を選定し、順次整備を実施。	引き続き実施																			
	■土砂災害に対する対策																								
		土砂・洪水氾濫への対策	土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所において人命への著しい被害の防止する砂防堰堤等の整備を実施。		信濃川下流水系の魚野川、清津川及び中津川流域において、砂防堰堤等の整備を実施	【長期】														砂防関係施設の整備	順次実施	－			
					魚野川、清津川及び中津川流域において引き続き砂防堰堤等の整備を実施。	引き続き実施														砂防関係施設整備中	引き続き実施				
		流木や土砂の影響への対策	多数の家屋や重要な施設の土砂・流木の流出による被害を防止するための土砂災害防止施設等の整備を実施。		信濃川下流水系の魚野川、清津川及び中津川流域において、土砂災害防止施設等の整備を実施	【長期】														砂防関係施設の整備	順次実施	－			
					魚野川、清津川及び中津川流域において引き続き砂防施設の整備を実施。	引き続き実施														砂防関係施設整備中	引き続き実施				
	■森林整備等における対策																								
		上流域における森林整備・保全等	治山対策、森林整備等								森林整備・治山対策の実施	【長期】		流域内の水源林造成事業地における森林整備、治山対策	実施中					治山対策、間伐等の森林整備の実施	【長期】				
											間伐等の森林整備による根系等の発達促進 治山ダムの設置等による渓床の安定や流木の流出抑制	引き続き実施		実施中						渓間工・山腹工等の施設整備、荒廃森林の改植・保育、間伐等の森林整備を引き続き実施	引き続き実施				
		保安林の適正な配備等	保安林の維持・管理及び保全	－							－	保安林改良等による森林整備及び治山施設等の対策	【長期】							保安林の維持・管理及び保全	【長期】				
												間伐等の森林整備による根系等の発達促進	引き続き実施							保安林としての機能の維持・増進及び治山対策の実施	引き続き実施				
３．減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）																									
	■住まい方の工夫に関する取り組み																								
		「まちづくり」による水害に強い地域への誘導	都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域へ誘導	－	水害に強いまちづくり方策検討のための水害リスクの情報提供を実施	【長期】																			
					多段階の確率規模の浸水想定区域を作成し、関係機関へ情報提供を実施中	引き続き実施																			
		克雪型住まい（高床式）費用の助成活用の充実	都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域へ誘導	－																					
		不動産関係団体への水害リスク情報と周知協力の推進	不動産関係者への水害リスク情報の提供	－	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。	【長期】引き続き実施	○													住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。	順次実施	○	新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップへの改良と、出前講座などを活用した周知・広報を実施する。		－
					浸水想定区域図等をHPにて公開済み。 必要に応じて、順次資料提供等の支援を実施	引き続き実施														市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施		新たな洪水ハザードマップを作成、公表。 新潟市ホームページにて不動産関係団体に対して不動産取引時の注意事項を記載。	H30実施済み	

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

資料１－５

（北陸地整～新潟市）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					北陸地整			北陸農政局			中越森林管理署			新潟水源林整備事務所			新潟地方気象台			新潟県			新潟市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
	■防災教育や防災知識の普及に関する取組																								
		水害の記憶の伝承	パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信	㉙	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等より、地域防災力の向上を図る。 ・水害関連動画を公開中 ・大河津分水通水１００周年を記念事業を通じ、関係機関と連携し防災教育やパネル展等を実施し、水害の歴史や危険度、治水対策の必要性等への理解及び意識向上を図る。以降も引き続き取組を実施	【長期】R1年度から実施 引き続き実施	○														防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等より、地域防災力の向上を図る。 順次実施中	引き続き実施 引き続き実施	○	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等より、地域防災力の向上を図る。 関係機関等との連携、職員による出前講座などで水害の記憶の伝承	引き続き実施 引き続き実施	－
		マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進	マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の支援	⑪	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。 ・燕市と協働し実務者向けの講演を実施（R2.10.1） ・引き続き、逃げ遅れゼロ大作戦として、流域自治体と協働でマイ・タイムラインの作成や普及活動を実施中。	【長期】R1年度から実施 引き続き実施	○												関係機関の要請に応じて、指導計画の気象関連部分の助言を行う。 R03年度支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。	適宜実施 －	－	マイ・タイムラインの普及を図る市町村と連携し、技術的な支援を行う。 中学校の総合学習における「マイ・タイムライン」の作成を支援する。	R2年度から実施 引き続き実施	○	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、マイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。 ・市独自のひな形を作成し、市ＨＰへ掲載を行うとともに、「にいがた防災メール」での広報、自主防災組織等へのチラシ送付、市民向けの防災関係イベントでの説明など、普及啓発を実施。	R2年度から実施 引き続き実施	－
		地域住民や小中学生等を対象にした防災教育の推進	出前講座による防災教育の実施	㉙	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。 流域内の小学生等向けに、出前講座を実施し、水害リスクの周知等を行った。 引き続き取り組みを推進する。	【長期】R1年度から実施 引き続き実施	○												関係機関の要請に応じて、出前講座等を実施する。 R03年度支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。	適宜実施 －	－	市町村の要請により出前講座を積極的に行っていく。 ・施設等の見学会を通じて、住民に対し施設の役割を理解してもらい、水防意識の向上を図る。【農地】 学校への出前講座を通じてリスク情報の周知を図った。 引き続き実施していく。	引き続き実施 引き続き実施	○	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。 ・新潟県防災教育プログラムに基づき全小中学校の各学年で防災教育（洪水災害）を実施。(H27-R1) ・各校の特徴、地域特性に応じて新潟県防災教育プログラムの自校化を進めている。 ・R2以降、「防災教育」学校・地域連携事業指定校における防災教育プランの見直し ・防災士や消防署・消防団等と連携した体験型の防災学習を実施 ・教育委員会（学校）、家庭や地域が連携した実践的な防災教育を実施。	 引き続き実施	－
		学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進	避難確保計画の策定と避難訓練の実施	㉙	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。 今後、避難計画検討に資する情報の提供などで、策定作業を支援していく	【長期】引き続き実施 引き続き実施	○												関係機関の要請に応じて、避難計画の気象関連部分の助言を行う。 R03年度支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。	適宜実施 －	－	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。 市町村と情報共有を図りながら支援する。	引き続き実施 引き続き実施	○	要配慮者利用施設利用施設について、説明会の実施やお知らせの送付などにより避難確保計画の作成促進を行う。 ・新潟市災害時情報システムに要配慮者利用施設管理者追加（H30.4～） ・要配慮者利用施設へ避難確保計画へ避難確保計画策定の依頼を実施（H30.6～） ・未策定施設への再依頼（R2.1～）	 引き続き実施	－
		まるごとまちごとハザードマップの推進（浸水深表示）	まるごとまちごとハザードマップの支援	㉛	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でまちなかに浸水リスクを表示する「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。 ・H28年度は弥彦村と連携し、整備の支援を実施 ・引き続き、整備の支援を実施	【長期】H28年度から順次整備 ・H28年度から順次実施 ・引き続き実施	○															実施を計画する市町村と連携を図り、整備を支援 順次実施中	H28年度から順次整備 引き続き実施	○			
		豪雨に対応したタイムラインの普及促進	新規・既存タイムラインの作成及び更新	⑪	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、タイムラインの普及・更新等により地域防災力向上を図る。 ・H28年度末にて下流域の未整備自治体を含め整備済み ・整備済み自治体とのホットライン連絡先（第2者まで）を明記 ・検証や改善については、出水に応じて適宜実施予定	【長期】 ・H28年度から順次整備 ・引き続き実施 ・H28年度から順次整備 ・順次実施	○												関係機関の要請に応じて、気象関連部分の助言を行う。 R03年度支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。	適宜実施 －	－	タイムラインを作成・更新する市町村と連携を図り、作成等を支援 中学校の総合学習における「マイ・タイムライン」の作成を支援する。	R2年度から実施 引き続き実施	○	関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備 関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備を実施運用。洪水対応演習時にタイムラインを確認。	 引き続き実施	－
	■要配慮者施設の避難に関する取組の推進																								
		地域防災計画への位置付けの推進	施設への指導、支援	⑲	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。 ・災害情報普及支援室の周知 ・協議会やその他個別調整の場にて適宜フォローアップ中 ・信濃川にて避難確保計画のサンプル及び解説集を独自に作成しＨＰ公開済み。	【長期】引き続き実施 ・引き続き実施	○															要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。 市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施 順次実施	－	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。 浸水想定区域や土砂災害警戒区域に所在する要配慮者利用施設を地域防災計画に定めている	 引き続き実施	－
		避難確保計画の作成と訓練の推進	施設への指導、支援	⑲	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。 ・災害情報普及支援室の周知 ・協議会やその他個別調整の場にて適宜フォローアップ中 ・信濃川にて避難確保計画のサンプル及び解説集を独自に作成しＨＰ公開済み。	【長期】引き続き実施 ・引き続き実施	○												関係機関の要請に応じて、避難計画の気象関連部分の助言を行う。 R03年度支援要請実績はなかったが、今後も適宜支援を実施。	適宜実施 －	－	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。 市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施 順次実施	－	要配慮者利用施設利用施設について、説明会の実施やお知らせの送付などにより避難確保計画の作成促進を行う。 ・新潟市災害時情報システムに要配慮者利用施設管理者追加（H30.4～） ・要配慮者利用施設へ避難確保計画へ避難確保計画策定の依頼を実施（H30.6～） ・未策定施設への再依頼（R2.1～）	 引き続き実施	－
		避難確保計画の作成につながる講習会の開催	講習会の実施	⑲	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。 ・災害情報普及支援室の周知 ・協議会やその他個別調整の場にて適宜フォローアップ中 ・信濃川にて避難確保計画のサンプル及び解説集を独自に作成しＨＰ公開済み。	【長期】引き続き実施 ・引き続き実施	○															要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。 市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施 順次実施	－	要配慮者利用施設利用施設について、必要に応じて説明会の実施を行う。 H28.11に要配慮者利用施設の管理者向け説明会を実施。	 引き続き実施	－
	■災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組																								
		水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進等による浸水リスク情報の周知	水位周知河川の設定	⑨																必要に応じて水位周知河川の追加及び危険水位の設定見直しを検討する。 R01年度に割野水位局（信濃川）の危険水位見直しを実施。	順次実施 順次実施	－			

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

資料１－５

（北陸地整～新潟市）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					北陸地整			北陸農政局			中越森林管理署			新潟水源林整備事務所			新潟地方気象台			新潟県			新潟市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進等による浸水リスク情報の周知	浸水想定区域図の作成	⑧	信濃川・魚野川において浸水想定区域図を作成・更新する ・計画規模・想定最大規模の洪水に対する浸水想定区域図を策定済み ・令和３年度は多段階の確率規模の浸水想定区域図を作成	短期 ・必要に応じて更新・充実														圏域内35河川について、想定最大規模における浸水想定区域図の作成及び公表を行う。 ・対象の内、22 32河川おいて浸水想定区域図を公表済み（2020 2022年1月時点）	短期 引き続き実施	－					
			ハザードマップ策定	⑧																			新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップへの改良と、出前講座などを活用した周知・広報を実施する。 ・新たな洪水ハザードマップを作成し全戸配布。 ・新潟市が作成する広報誌、チラシ等に新潟市総合ハザードマップのQRコードを掲載するなど日頃から住民への周知を図っている。	H30実施済み	－
			住民への周知	⑧	住民への氾濫リスクを周知するための支援の検討 ・浸水想定区域図等のデータは提供済 ・令和３年度は多段階の確率規模の浸水想定区域図を作成 ・今後、避難計画検討に資する情報の提供などで、市町村の策定作業を支援していく	【長期】H28年度から実施 引き続き実施	○													住民への氾濫リスクを周知するための支援の検討 学校への出前講座を通じてリスク情報の周知を図った。 引き続き実施していく。	H30年度から実施 引き続き実施	○	新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップへの改良と、出前講座などを活用した周知・広報を実施する。 ・新たな洪水ハザードマップを作成し全戸配布。 ・新潟市が作成する広報誌、チラシ等に新潟市総合ハザードマップのQRコードを掲載するなど日頃から住民への周知を図っている。	H30実施済み	－
		支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知	浸水想定区域図の作成	⑧	信濃川・魚野川において浸水想定区域図を作成・更新する 計画規模・想定最大規模の洪水に対する浸水想定区域図を策定済み 今後、内外水一体となった浸水想定区域図の作成を検討する	短期 ・必要に応じて更新・充実														圏域内35河川について、想定最大規模における浸水想定区域図の作成及び公表を行う。 ・対象の内、22 32河川おいて浸水想定区域図を公表済み（2020 2022年1月時点）	短期 引き続き実施	－					
			ハザードマップ策定	⑧																			新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップへの改良と、出前講座などを活用した周知・広報を実施する。 新たな洪水ハザードマップを作成し全戸配布。	H30実施済み	－
			住民への周知	⑧	住民への氾濫リスクを周知するための支援の検討 ・浸水想定区域図等のデータは提供済 ・今後、避難計画検討に資する情報の提供などで、市町村の策定作業を支援していく	【長期】H28年度から実施 引き続き実施	○													住民への氾濫リスクを周知するための支援の検討 市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施 順次実施	○	新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップへの改良と、出前講座などを活用した周知・広報を実施する。 新たな洪水ハザードマップを作成し全戸配布。	H30実施済み	－
		土砂災害に関する避難情報の周知	土砂災害警戒区域等の周知・更新	－																土砂災害警戒区域等の周知・更新 土砂災害警戒区域等の周知・更新実施中	順次実施 引き続き実施				
			土砂災害警戒情報に関するシステムの整備	－																土砂災害警戒情報に関するシステムの整備 土砂災害警戒情報に関するシステムの更新作業中	順次実施 引き続き実施				
		農業用ため池の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知	ハザードマップ策定																【南魚沼地区】 農業用ため池の避難対策としてのハザードマップ作成を支援する。 【魚沼地区】 農業用ため池の氾濫の避難対策としてのハザードマップ作成を支援す 【南魚沼地区】 管内の防災重点ため池9箇所の策定済み。 【魚沼地区】 管内の防災重点ため池に係るハザードマップの作成を支援する。	R3から実施 R12までに実施				
		早期避難に向けた精度の高い降雨予測、水位予測体制の検討	予測システムの精度向上	⑨	・現状予測時間（～3時間） ・更に数時間（4～6時間程度）先も含め水位予測精度の向上の検討・システム改良 ・H28～29年度でシステム改良を完了。R2年度、H30以降の出水における精度検証を行う予定。 ・H30年7月に運用を開始した共有プラットフォームにおいても情報提供を実施	【長期】H28年度から順次実施 ・引き続き実施	○																			
		ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信の強化	災害情報等の発信	－	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、早期避難に向けた精度の高い水位予測の検討の実施。ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信の強化を図る。 「地域防災コラボチャンネル」について実施に向け手続中	【長期】R3年度から実施 ・引き続き実施	○													災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、早期避難に向けた精度の高い水位予測の検討の実施。ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信の強化を図る。 市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施 順次実施	○			

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

資料１－５
（北陸地整～新潟市）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					北陸地整			北陸農政局			中越森林管理署			新潟水源林整備事務所			新潟地方気象台			新潟県			新潟市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		マスメディアとの連携強化	報道機関等への情報提供及び連携	－	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。 新潟県メディア連携協議会と連携し、情報発信の強化を図っている。	【長期】H30年度から実施 ・引き続き実施	○													災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。 市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施 順次実施	○	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。 R1、R2に新聞やテレビ関係などの報道機関と災害時の情報発信のあり方などについて情報交換を実施。	引き続き実施	－
		住民への情報伝達手段の強化	住民が分かりやすいきめ細やかな情報伝達	⑮	・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供（信濃川水系として信濃川下流と一元化し、共有・閲覧できるシステム（共有プラットフォーム化）の整備・活用） ・信濃川河川事務所HP等で提供中 ・平成30年7月より運用を開始した共有プラットフォームにおいても情報提供を実施	【長期】引き続き実施 ・H28年度から着手 ・引き続き実施	○													雨が止んだ後に上流からの洪水が到達した状況を踏まえ、災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、洪水が遅れて到達する水系の情報発信の強化を図る。 市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施 順次実施	○	市民向け情報発信の発信を強化するため、情報伝達手段の更なる多重化に取り組む。 既存の情報伝達手段である市HPをはじめとして、にいがた防災メール、Twitter、防災行政無線、ヤフー防災、FMラジオに加え、LINEによる情報配信を進める。	引き続き実施	－
		水位計、空間監視カメラ等の整備によるリアルタイム情報の発信	水位計、監視カメラ等の設置	⑮	・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供（信濃川水系として信濃川下流と一元化し、共有・閲覧できるシステム（共有プラットフォーム化）の整備・活用） ・信濃川河川事務所HP等で提供中 ・平成30年7月より運用を開始した共有プラットフォームにおいても情報提供を実施	【長期】引き続き実施 ・H28年度から着手 ・引き続き実施	○													浸水により人家等への影響がある地区への避難情報発令を支援するため、水位計やカメラを設置する。 令和元年度東日本台風出水により家屋浸水が生じた地区に危機管理型水位計を設置した。	H30年度から実施 R元年度	○			
		浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスク情報の提供	企業、危険物管理施設へのリスク情報の共有	－	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供 ・浸水想定区域図等をHPにて公開済み。 ・令和３年度は多段階の確率規模の浸水想定区域図を作成 ・燕市の企業を対象としてBCP策定支援のセミナーを実施 ・必要に応じ、浸水リスク情報の提供を実施	【長期】引き続き実施 ・引き続き実施	○													災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供 市町村と情報共有を図りながら支援する。	順次実施 順次実施	○	新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップへの改良と、出前講座などを活用した周知・広報を実施する。 新たな洪水ハザードマップを作成、公表。	H30実施済み	－
4．グリーンインフラに関連する取組																									
■グリーンインフラに関連する取組																									
		自然環境の保全・復元などの自然再生	レキ河原再生、水際環境の創出、瀬淵の復元	－	多様な水際環境を形成するために、掘削形状の検討を行い、湿地・砂礫河原等の環境の形成を図る。 魚類をはじめとする多様な生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し、たまりや湿地等の多様な河川環境を創出します。 河川環境調査の実施等により生物生息環境創出の可能性を模索し、必要に応じて自然再生のための整備を実施	【短期】【中期】【長期】 引き続き実施															・信濃川上流域の緊急治水対策プロジェクトにおいて、河川改修工事後の河床形状を工夫し、魚類の生息生育環境に配慮した瀬と淵の復元を図る ・羽根川の整備にあたワンドを形成等	【短期】【中期】【長期】					
		治水対策における多自然川づくり	・湿地環境の創出 ・魚道整備による生息環境の連続性確保 ・多様な生物の生息環境への配慮 ・河川景観の保全	－	・河道掘削等の実施において多様な生物の生息環境へ配慮した整備を実施する。 ・大河津分水路第二床固改築工事において魚道を整備　等 緊急治水対策プロジェクトや大河津分水路改修事業の実施において、対応を図っていく。	【短期】【中期】【長期】 引き続き実施															各圏域河川で実施する河道掘削等について多様な生物の生息環境への配慮した整備を実施	【短期】【中期】【長期】					
		自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	－	・小中学校などにおける河川環境学習 ・河川協力団体による美化活動 ・地域の小中学校への河川環境学習を定期的に支援 ・河川協力団体による美化活動を定期的・継続的に実施、支援	【短期】【中期】【長期】 引き続き実施					森林・林業教育の実施	【中期】【長期】								森林・林業教育の実施	【中期】【長期】					
		魅力ある水辺空間・賑わいの創出	水辺の賑わい空間創出	－	地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援。 長岡河川防災ステーション整備において、平時の賑わい創出等を狙った利活用の可能性を検討	【短期】【中期】【長期】 引き続き実施																				
		生態系ネットワークの形成	大型水鳥のねぐらや採餌場となる浅場や湿地環境の保全・創出	－	大型鳥類の保全・活用に資する河川環境関連事業の連携関係を築き、豊かな自然環境を活用した魅力的な活力ある地域づくりの形成を推進 生態系ネットワークの形成のため国・県・市町村、学識者、環境団体等が参画する協議会を設置し議論	【短期】【中期】【長期】 引き続き実施																				
		流域における対策と合わせた自然再生等	・雨水貯留機能と両立した森林復旧・再生	－							森林整備（除間伐の実施・森林復旧）	【中期】【長期】		森林整備（除間伐の実施・森林復旧） 実施中	【中期】【長期】					森林整備（除間伐の実施・森林復旧）	【長期】					
		流域における対策と合わせた自然再生等	・水田の雨水貯留機能確保・向上と合わせた良好な田園風景、多様な生息・生育環境の形成	－																水田（田んぼダム）は雨水貯留機能とともに、良好な田園景観や生物の多様な生息・生育環境に寄与する。	【中期】【長期】					

資料１－５

（北陸地整～新潟市）

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					北陸地整			北陸農政局			中越森林管理署			新潟水源林整備事務所			新潟地方気象台			新潟県			新潟市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		流域における対策と合わせた自然再生等	・砂防整備と合わせて憩いの場の創出・魚道整備等	－	信濃川下流水系の魚野川において、砂防設備に整備と合わせた憩いの場の創出・魚道等の整備を実施 魚野川において、引き続き憩いの場の創出・魚道等の整備を実施。	【短期】【中長期】 引き続き実施																			

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（長岡市～魚沼市）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
1．被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）																									
	■被災施設等の迅速な復旧																								
		堤防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧		－																					
	■河川水位の低下及び洪水流下断面を向上させるための取組																								
		遊水地等の洪水調節施設の整備	遊水地の整備	①																					
		洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進	大河津分水路の改修																						
			河道掘削 樹木伐採	①																					
			築堤	①																					
	■施設規模を上回る洪水に対する取組																								
		危機管理型ハード対策	堤防裏法尻の補強・天端舗装	②																					
	■既存施設を活用した洪水被害軽減対策																								
		堤防の強化（浸透対策等）	堤防の強化	①																					
		既存の排水機場、ダム、堰などの河川管理施設について、更なる洪水被害軽減の可能性に着いて検討を行うとともに、必要な対策を実施	既存ダムの事前放流を伴う治水協力	㉔																					
			既存の堰等の洪水時における操作改定																						
	■河道・河川管理施設等の適切な維持管理																								
		堤防や堰、水門等の適切な維持管理		－																					

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（長岡市～魚沼市）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		河道内の堆積土砂の撤去、樹木の植生管理		－																					
２．地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）																									
	■支流の流出抑制の取組																								
		雨水貯留施設、田んぼダム、透水性舗装の整備等	公園、校庭等の雨水貯留施設の整備	－	貯留管及び貯留施設、雨水調整池を整備・管理 ・R1年度に琴平公園貯留施設が整備完了 ・引き続き雨水貯留施設等の整備を検討	順次整備 引き続き実施	○	・雨水貯留施設等の整備を実施 ・雨水貯留施設等の整備を実施	【長期】引き続き実施 【長期】引き続き実施	－															
			田んぼダムの推進	－	農地の多面的機能として位置づけられている田圃に一時的に貯留する機能を向上させるため、農家に対し、交付金を積極的に活用して田圃ダムに取り組むよう周知する。 効果測定等への指導・助言のため、県内大学機関等との連携も検討。 農地の多面的機能として位置づけられている田圃に一時的に貯留する機能を向上させるため、農家に対し、交付金を積極的に活用して田圃ダムに取り組むよう周知する。 効果測定等への指導・助言のため、県内大学機関等との連携も検討。	順次検討 引き続き実施	○	・田んぼダムの活用（市内1,159へクタールで実施） ・田んぼダムの活用（市内1,159へクタールで実施）	【長期】実施中 【長期】実施中	－	農地の多面的機能として位置づけられている田圃に一時的に貯留する機能を活用するための、現在整備済の田圃ダムの適正管理を実施するとともに、新規整備箇所を検討する。 現在整備済みの田圃ダムの適正管理を引き続き実施	【長期】 引き続き実施	○	・田んぼダムの活用 農地の多面的機能として位置づけられている田圃に一時的に貯留する機能を活用するための、現在整備済の田圃ダムの適正管理を実施する	継続実施 継続実施									農地には多面的機能があるなか、一時的に貯留する機能を活用するため、田圃ダムを検討する。 データ分析等検討を開始。引き続き検討。	【中期】検討中 引き続き検討	○
			浸透性舗装、側溝、ますの設置	－	開発行為に該当する事業については、開発区域における排水基準により、敷地内の雨水流出量を算定し、周辺排水路や河川への能力を勘案した上で、駐車場、グラウンド、自由勾配側溝等の貯留施設の計画を行っている。 近年の実績：越路白山保育園（Ｈ２３年）、高等総合支援学校屋内運動場（Ｈ２９年）、ながおか花火館（Ｒ２年）	引き続き実施 引き続き実施	○																		開発区域における排水基準により、敷地内の雨水流出量を算定し、周辺排水路や河川への能力を勘案した上で、駐車場、グラウンド、自由勾配側溝等の貯留施設の計画を行っている。 近年の実績：市立湯之谷小学校（H29年） 実施済	実施済 実施済（他施設等でも検討）	○
			各戸貯留施設の費用補助	－	~~個人・企業への雨水タンク設置補助を実施中。出水を踏まえ、普及PRを加速化させる。~~ 個人・企業へ雨水貯留槽及び雨水浸透ますの設置費を助成 ・雨水貯留槽の設置費助成を実施中 ・雨水浸透ますの設置費助成について検討する	引き続き実施 引き続き実施	○																				
	■支川氾濫抑制、内水被害を軽減する取組																								
		支川水路における氾濫抑制対策	河道掘削	①																					
			雨水渠の流下能力増強														H23年の新潟・福島豪雨で浸水被害があった地区について、雨水渠の流下能力増強を図る。 H27年度より、雨水渠の流下能力増強のためのバイパス管及び既存施設の改築を実施中。R4年度に完了予定。	【短期】H27年度から実施。R4年度完了予定 引き続き実施	○						
		排水機場の整備	排水機場の整備、増設	㉔	ポンプ施設、ゲート施設を整備・管理 現在、寿町排水ポンプ場（R5年度完成予定）を整備中	引き続き実施 R5年度完成予定	○																ポンプ施設、ゲート施設を整備・管理している。 四日町排水ポンプ場を整備中。	実施済み R7年完成予定	○
			放流先の見直し	㉔																					
			排水ポンプ車等の整備	㉔	浸水常襲箇所における可搬式ポンプ、発電設備の新規購入 ・可搬式ポンプ18台、発電機6第を購入 ・今後も可搬式ポンプの購入を検討	引き続き実施 引き続き実施	○																		

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（長岡市～魚沼市）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		排水機場の耐水化の推進	排水機場の耐水化	㉔	排水機場の耐水化 ・令和3年度に下水道施設を対象とした耐水化計画を策定予定 ・令和4年度から耐水化工事を実施予定	引き続き実施 引き続き実施		・今後の対応について検討（該当施設の調査等） ・今後の対応について検討（該当施設の調査等）	【長期】今後検討 【長期】今後検討	―															
	■大規模災害時における迅速な復旧支援の取組																								
		緊急復旧などを迅速に行う防災拠点等の整備	河川防災ステーション等の整備	㉖	長岡地区にて防災拠点整備を検討 引き続き整備を検討	R1年度から実施 引き続き実施	○																		
			大規模水害時において大型車両等が通行可能なアクセス網の整備																						
	■土砂災害に対する対策																								
		土砂・洪水氾濫への対策	土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所において人命への著しい被害の防止する砂防堰堤等の整備を実施。																						
		流木や土砂の影響への対策	多数の家屋や重要な施設の土砂・流木の流出による被害を防止するための土砂災害防止施設等の整備を実施。																						
	■森林整備等における対策																								
		上流域における森林整備・保全等	治山対策、森林整備等																						
		保安林の適正な配備等	保安林の維持・管理及び保全	―																					
3．減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）																									
	■住まい方の工夫に関する取り組み																								
		「まちづくり」による水害に強い地域への誘導	都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域へ誘導	―	都市計画マスタープラン等に基づき、災害に強い町づくりを推進 持続可能でコンパクトなまちづくりを目指し、H29.7に長岡市立地適正化計画を公表している。水害等の各ハザードに対する防災対策・安全確保策となる「防災指針」の策定を進め、居住や都市機能の誘導区域における安全性を高める。	引き続き実施 R３年度より検討着手					都市計画マスタープラン等に基づき、災害に強い町づくりを推進 防災ラジオによる迅速な広報やハザードマップによる周知など引き続き実施	【長期】 引き続き実施	○	都市計画マスタープラン等に基づき、災害に強いまちづくりを推進。 ・引き続き推進	引き続き推進 引き続き推進	―				都市計画マスタープラン等に基づき、災害に強いまちづくりを推進。 ・引き続き推進	【中期】計画策定時から推進 引き続き推進	○	都市計画マスタープラン等に基づき、災害に強いまちづくりを推進。 継続中	【短期】継続中 引き続き継続	○
		克雪型住まい（高床式）費用の助成活用の充実	都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域へ誘導	―							豪雪地域である小千谷市内において、高床式住居において浸水被害軽減に結びついた有用性についてＰＲを実施 広報誌やホームページによるPRを実施	【長期】 引き続き実施	○														
		不動産関係団体への水害リスク情報と周知協力の推進	不動産関係者への水害リスク情報の提供	―	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 必要に応じて冊子の提供や、ホームページでの情報提供の実施中	引き続き実施 引き続き実施	○				住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 ・ハザードマップによる情報提供を実施	【長期】 引き続き実施	○	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 ・ハザードマップによるリスク情報の提供を実施。	引き続き実施 引き続き実施	―	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 ・R1年6月に全戸配布した洪水ハザードマップを市HPに公開し、不動産関係者に対して水害リスクの周知を図る。	R1年6月 継続	○	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 ・ハザードマップの紹介と提供を実施。	【長期】H29年度から実施 引き続き実施	○	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 ハザードマップにより情報提供を行っている。	【短期】継続中 引き続き継続	○

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（長岡市～魚沼市）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
■防災教育や防災知識の普及に関する取組																									
		水害の記憶の伝承	パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信	㉓	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等より、地域防災力の向上を図る。	引き続き実施		・防災教育や防災フェスタの開催などを通じて地域防災力の向上を図る。	【長期】引き続き実施		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等より、地域防災力の向上を図る。	【長期】					防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等より、地域防災力の向上を図る。	R1年10月		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等より、地域防災力の向上を図る。	【長期】引き続き実施		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等より、地域防災力の向上を図る。	実施済み	
					・市内小中学校において防災教育コンテンツ（教材）「防災主手箱」等を活用し、水害の体験談の伝承等の防災教育を実施	引き続き実施	○	・市内小中学校において防災教育を実施 ・防災フェスタの開催	【長期】引き続き実施	－	関係機関及び関係団体の協力により引き続き実施	引き続き実施	○				・R1年10月　国土地理院「自然災害伝承碑」に登録し、過去の水害の歴史を伝承する。	継続	○	・防災教育や防災出前講座等において、過去の全国の水害について紹介し、水害の危険性等を啓発。	引き続き実施	○	地域防災力向上シンポジウムを開催。	令和元年度	○
		マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進	マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の支援	⑫	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民や小・中学校へマイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。	引き続き実施		・三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高めていく。	【長期】引き続き実施	－	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【長期】	○	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。	R2年度から実施	－	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。	R2年7月		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】R02年度から実施		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】継続中	
					・長岡版マイ・タイムライン「わが家の防災タイムライン」を（小学生版、中学生～大人版）作成 ・HPへ掲載するとともに、小中学校等での活用支援を実施	引き続き実施		・三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高めていく。	【長期】引き続き実施		関係機関の協力により出前講座等を実施	引き続き実施		「豪雨災害対応ガイドブック」にマイタイムラインを掲載した。 ・様式を全世帯に配布。 ・対象者を絞り、啓発を行う。	引き続き実施	－	・R2年7月「十日町市版マイタイムライン」を策定し、全戸配布するとともに市HPに公開し、普及を図る。	継続	○	・「マイ・タイムライン」や、水害時の適切な対応の理解を図る「防災チェックシート」の作成、全戸配布。 ・市広報誌及びホームページへ特集記事掲載。 ・防災教育や防災出前講座、女性防災リーダー養成講座等での説明、作成推奨中。	引き続き実施	○	必要に応じて出前講座等にてマイタイムラインの普及啓発を行っている。 地区防災マップ等の作成支援を行っている。	引き続き継続	○
		地域住民や小中学生等を対象にした防災教育の推進	出前講座による防災教育の実施	㉓	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。	引き続き実施		・全小中学校・全学年で防災教育授業を実施	【長期】H25年度から実施	－	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【長期】	○	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。	引き続き実施	－	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。	R2年11月実施予定		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【中期】H30年度から実施		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】継続中	
					・地域の特色や学校のニーズに応じた、防災教育の授業等の相談、企画、運営及び講師の派遣等を実施 ・「わが家の防災タイムライン」を小中学校の授業で活用 ・防災の専門知識を有するアドバイザーを派遣し、自主防災活動を支援 ・地域住民向けに、防災講話等の講師派遣を実施	引き続き実施		・全小中学校・全学年で防災教育授業を実施	【長期】引き続き毎年実施		管内小・中学校において防災教育を実施	引き続き実施		・小中学校を対象に過去の水害の状況、対策等についての防災教育を実施している。	引き続き実施	－	・市内小中学校からの要望等もあり、「防災教育」をテーマに社会科学習を実施予定。	継続		・教育委員会との連携による、「防災キャラバン」と称した防災教育を、市内8小中学校で実施。（昨年度14小学校） ・地域と学校が連携した防災訓練や防災活動の支援を実施。	引き続き実施		市内小中学校からの要望により、防災教育を実施し危険生徒の防災意識を高めるべく支援を実施。	引き続き継続	
		学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進	避難確保計画の策定と避難訓練の実施	㉓	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	引き続き実施	○	・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難計画策定を促す。	【長期】新潟県からの情報提供後から実施	－	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】	○	学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	引き続き実施	－	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	R2年4月	○	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【中期】H30年度から実施	○	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】継続中	○
					学校における避難確保計画の作成や避難訓練の実施を推進	引き続き実施		・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難計画策定を促す。 また、適宜相談に応じる体制を整えることとしている。	【長期】実施中		対象となる学校の避難確保計画を作成、避難訓練を実施	引き続き実施		学校の避難確保計画は対象となる全小中学校で作成済み。避難訓練実施を推進。	引き続き実施		・浸水対象区域の学校施設はないが、過去の水害等を踏まえて、避難訓練の実施をお願いする。	継続		・教育委員会との連携による、「防災キャラバン」と称した防災教育を、市内8小中学校で実施。（昨年度14小学校）	引き続き実施		教育委員会と連携を図り、浸水想定区域内の小中学校に避難確保計画の作成を依頼し、全校が提出済みである。避難訓練についても継続して実施している。	引き続き継続	
		まるごとまちごとハザードマップの推進（浸水深表示）	まるごとまちごとハザードマップの支援	㉛	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でまちなかに浸水リスクを表示する「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。	引き続き実施	○	・避難所の見直し等に伴う変更を実施	【長期】引き続き実施	－	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でまちなかに浸水リスクを表示する「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。	【長期】	○				防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でまちなかに浸水リスクを表示する「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。	R2年6月	○	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でまちなかに浸水リスクを表示する「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。	【短期】H29ねんどから検討	○	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でまちなかに浸水リスクを表示する「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。	【短期】継続中	○
					地域住民と協働でまちなかへの浸水リスク表示について検討中	引き続き実施		・避難所の見直し等に伴う変更を実施	【長期】引き続き実施		防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でまちなかに浸水リスクを表示する「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。 県管理河川の洪水浸水想定区域や浸水深に併せて引き続き実施	引き続き実施					・令和2年6月「防災ハンドブック」を全戸配布する。 ・国県のハザードマップの改定に合わせてその都度修正するため、継続して検討していく。	継続		・H29年度完成のハザードマップを参考に検討。	引き続き検討		浸水表示を、浸水エリアの小中学校に試行的に設置予定（Ｒ４）	引き続き検討	
		豪雨に対応したタイムラインの普及促進	新規・既存タイムラインの作成及び更新	⑪	・信濃川等の各観測所ごとにタイムラインを策定し、必要に応じて見直しを実施	引き続き実施	○	・水防法の改正に伴う浸水想定区域の見直しや、平成27年9月の関東・東北豪雨を踏まえ、ワーキングを開催して検証を行い、必要な見直しや新たな課題の抽出を行っている。	【長期】引き続き実施	－	タイムラインの作成及び更新。	【短期】	○	タイムラインの活用により、豪雨対応力向上を図る。	引き続き実施	－	振興局として連携して、タイムラインを策定する。	Ｒ１年６月	○	関係機関と協議検証し、タイムラインの見直しを行うことにより、災害対応力向上を図る。	【長期】引き続き実施	○	タイムラインについて、より実効性の高いものとなるよう関係機関と協議を行い、更新を図る。	【短期】継続中	○
					・信濃川、魚野川、刈谷田川、黒川を作成 ・必要に応じて見直しを検討	引き続き実施		・避難に対する考え方や避難情報の出し方など、対応全体の在り方を改めて検討する。	【長期】H30年度実施済、引き続き検討		危険箇所におけるタイムラインの作成及び更新を引き続き実施	引き続き実施		・関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）を整備した。今後運用しながら適宜見直しを図る。	引き続き実施		・R3年7月振興局と協議し、タイムラインを変更。 ・更新については、適宜、検証し検討する。	継続		・必要に応じ、関係機関と協議検証し見直しを図る。	引き続き実施		必要に応じ、関係機関と協議検証し見直しを図る。	引き続き継続	
■要配慮者施設の避難に関する取組の推進																									
		地域防災計画への位置付けの推進	施設への指導、支援	⑲	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。	引き続き実施	○				要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。	【短期】	○	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。	引き続き実施	－	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。	R2年11月予定	○	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。	【短期】H29年度から実施	○	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。	令和元年度	○
					浸水想定区域や土砂災害警戒区域に所在する要配慮者利用施設を地域防災計画に定めている	引き続き実施					浸水想定区域や土砂災害警戒区域に所在する要配慮者利用施設を地域防災計画に定めている。	引き続き実施		浸水想定区域や土砂災害警戒区域に所在する要配慮者利用施設を地域防災計画に掲載済み。避難確保計画作成や避難訓練を推進。	引き続き実施		対象なし			・地域防災計画修正の際に、見直しを実施。	引き続き実施		平成31年度修正の地域防災計画に要配慮者施設を明記した。	令和元年度	
		避難確保計画の作成と訓練の推進	施設への指導、支援	⑲	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	引き続き実施	○	・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難計画策定を促す。	【長期】新潟県からの情報提供後から実施	－	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】	○	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	引き続き実施	－	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	H28年度から検討	○	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】H29年度から実施	○	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】継続中	○
					要配慮者利用施設における避難計画策定と訓練の推進を行う	引き続き実施		・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難計画策定を促す。 また、適宜相談に応じる体制を整えることとしている。	【長期】実施中		要配慮者利用施設に対し避難計画策定を依頼し、訓練を実施	引き続き実施		・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。 ・対象施設の計画策定について依頼 ・確認を実施。	引き続き実施		対象なし			・福祉部局と連携し、避難計画策定と訓練実施の推進を図る。	引き続き実施		福祉部局等と連携し、要配慮者利用施設に対し、避難計画の作成と訓練の推進等を行っている。	引き続き継続	
		避難確保計画の作成につながる講習会の開催	講習会の実施	⑲	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。	引き続き実施	○				要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】	○				要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。	R2年4月	○	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】H29年度から実施	○	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。	【短期】継続中	○
					防災対策等の説明会を実施し、地域防災力の向上を図る。今年度は感染防止のため中止。要配慮者利用施設の管理者に対して資料送付を行った。	引き続き実施					未作成の要配慮者利用施設への説明を引き続き実施	引き続き実施					対象なし			・福祉部局と連携し、講習会開催を検討する。	引き続き実施		関係する施設等に対し、説明会を開催し実効性のある避難確保計画の作成を促している。	引き続き継続	
■災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組																									
		水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進等による浸水リスク情報の周知	水位周知河川の設定	⑨																					

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（長岡市～魚沼市）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進等による浸水リスク情報の周知	浸水想定区域図の作成	⑧																					
			ハザードマップ策定	⑧	台風19号を踏まえた避難所等の見直し等、新たなハザードマップの検討	令和2年度に実施	○	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	【長期】新潟県からの情報提供後から実施	－	台風19号を踏まえた避難所等の見直し等、新たなハザードマップの検討	【短期】	○				台風19号を踏まえた避難所等の見直し等、新たなハザードマップの検討	R1年6月	○	台風19号を踏まえた避難所等の見直し等、新たなハザードマップの検討	【短期】R01年度から実施	○	台風19号を踏まえた避難所等の見直し等、新たなハザードマップを作成	継続中	○
					・想定最大規模降雨に対応した避難場所を設定した、新たなハザードマップを作成。 ・要配慮者版（視覚障害者、外国人）洪水ハザードマップを作成し、希望者等へ配布	令和2年6月に策定		・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	【長期】H31年度から実施		引き続き実施	引き続き実施					・R1年6月　洪水ハザードマップを全戸配布する。 ・国・県のハザードマップ改定に合わせて改定を予定しているため、引き続き、検討していく。	継続		・台風19号等過去の教訓を踏まえ、開設する避難所や避難所の運営体制の見直し等により、対応力向上を図っている。	引き続き実施		台風19号等の過去の浸水実績を図示したハザードマップを作成、これにより浸水リスク情報の周知を図っている。	引き続き継続	
			住民への周知	⑧	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。	引き続き実施	○	・三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高めていく	【長期】引き続き実施	－	・最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。 ・市が管理委託されている支流河川の樋門の操作状況も情報提供し、市民の避難行動を促す。	【短期】	○	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。	引き続き実施	－	デジタル防災無線の整備が令和3年3月に完了予定で全世帯に戸別受信機を配備予定。 今後は、登録制メール、防災ラジオ、戸別受信機などを使い、市民の避難行動につながる情報提供を実施。	H30年度	○	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。	【中期】H29年度から実施	○	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。	【短期】継続中	○
					・Ｒ２年度に新たな洪水ハザードマップを作成し、全戸配布 ・コミュニティセンターに大判のマップを掲示 ・解説動画をYouTubeに投稿 ・地区説明会を順次実施中	引き続き実施		・三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高めていく	【長期】引き続き実施		ハザードマップを全戸配布	引き続き実施		・ハザードマップを全戸配布 ・町内からの要望に基づいて防災講習会等を開催 ・小中学校からの防災教育を推進	引き続き実施		・R3年9月デジタル防災行政無線の整備及び戸別受信機の全戸配布が完了。	R3年9月完了		・平時から、ハザードマップやマイ・タイムライン等を用い、避難行動や情報収集手段等について普及啓発を実施。	引き続き実施		浸水想定公表に合わせて、ハザードマップに反映し、全戸配布により周知を図っている。	引き続き継続	
		支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知	浸水想定区域図の作成	⑧																					
			ハザードマップ策定	⑧	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、支川の氾濫に着目したハザードマップ等の作成・見直しを図り、地域住民等へのリスク情報通知を図る。	令和2年度に実施	○	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	【長期】新潟県からの情報提供後から実施	－	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、支川の氾濫に着目したハザードマップ等の作成・見直しを図り、地域住民等へのリスク情報通知を図る。	【中期】	○				災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、支川の氾濫に着目したハザードマップ等の作成・見直しを図り、地域住民等へのリスク情報通知を図る。	R2年度	○	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、支川の氾濫に着目したハザードマップ等の作成・見直しを図り、地域住民等へのリスク情報通知を図る。	【中期】今後検討	○	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、支川の氾濫に着目したハザードマップ等の作成・見直しを図り、地域住民等へのリスク情報通知を図る。	【短期】継続中	○
					・想定最大規模降雨に対応した避難場所を設定した、新たなハザードマップを作成 ・要配慮者版（視覚障害者、外国人）洪水ハザードマップを作成し、希望者等へ配布	令和2年6月に策定		・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	【長期】H31年度から実施		関係機関との連携により引き続き実施	引き続き実施					「小規模河川の氾濫推定図」の策定を県とともに進めていく。	継続		・国や県から浸水想定区域図が公表された際に検討する。	今後検討		中小河川のリスク情報周知についても県からの協力を得ながら引き続き検討を行う。	引き続き継続	
			住民への周知	⑧	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。	引き続き実施	○	・三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高めていく	【長期】引き続き実施	－	・最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。 ・市が管理委託されている支流河川の樋門の操作状況も情報提供し、市民の避難行動を促す。	【中期】	○				デジタル防災無線の整備が令和3年3月に完了予定で、全世帯に戸別受信機を配備予定。 今後は、登録制メール、防災ラジオ、戸別受信機などを使い、市民の避難行動につながる情報提供を実施。	H30年度	○	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。	【中期】H29年度から実施	○	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。	【短期】継続中	○
					・Ｒ２年度に新たな洪水ハザードマップを作成し、全戸配布 ・コミュニティセンターに大判のマップを掲示 ・解説動画をYouTubeに投稿 ・地区説明会を順次実施中	引き続き実施		・三条市豪雨災害対応ガイドブックを活用し、住民の水害や避難に対する意識を高めていく	【長期】引き続き実施		ハザードマップを全戸配布	引き続き実施					・R3年9月デジタル防災行政無線の整備及び戸別受信機の全戸配布が完了。	R3年9月完了		・平時から、ハザードマップやマイ・タイムライン等を用い、避難行動や情報収集手段等について普及啓発を実施。	引き続き実施		浸水想定区域の公表に合わせ、ハザードマップ等を作成し、リスク情報の周知を図る。	引き続き継続	
		土砂災害に関する避難情報の周知	土砂災害警戒区域等の周知・更新	－																					
			土砂災害警戒情報に関するシステムの整備	－																					
		農業用ため池の冠水に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知	ハザードマップ策定		決壊時に人家等への被害が想定される防災重点ため池（市内45箇所）について関係住民へのリスク周知のため、ハザードマップを作成	令和3年度中に完成																			
					R3年度に完成	令和3年度に完成																			
		早期避難に向けた精度の高い降雨予測、水位予測体制の検討	予測システムの精度向上	⑨																					
		ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信の強化	災害情報等の発信	－				・メール配信サービス（登録制）やツイッターなどを活用した情報発信を実施	【長期】引き続き実施	－															
								・メール配信サービス(登録制)やツイッターなどを活用した情報発信を実施	【長期】引き続き実施																

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（長岡市～魚沼市）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		マスメディアとの連携強化	報道機関等への情報提供及び連携	－	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。	引き続き実施					災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。	【長期】		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。	引き続き実施		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。	H25年度		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。	【中期】引き続き実施		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。	【短期】継続中	
					災害対策本部会議のライブ中継を地元ケーブルテレビ局が実施	引き続き実施					新潟県総合防災情報システムの活用等、引き続き実施	引き続き実施	○	・新潟県総合防災情報システムの活用等による情報提供を実施。	引き続き実施	－	・災害対策本部設置などの情報を「Lアラートシステム」を活用し、情報発信しながら引き続き、連携を図っていく。	継続	○	・新潟県総合防災情報システム等を活用し、迅速かつ的確な情報提供を実施。	引き続き実施	○	新潟県総合防災情報システムの活用やコミュニティFM局と連携による、迅速かつ的確な情報提供を実施。	引き続き継続	○
		住民への情報伝達手段の強化	住民が分かりやすいきめ細やかな情報伝達	⑮	市民向け情報発信の発信を強化するため、ホームページのアクセス集中対策、情報伝達手段の更なる多重化に取り組む。	引き続き実施	○	・防災行政無線のほか、様々な伝達手段を用いて住民に情報を伝達していく。	引き続き実施	－				家屋倒壊等氾濫想定区域等の危険度の高い地域における「避難インフルエンサー」の取り組み推進	引き続き実施	－				住民に対して増水した河川等危険な場所に近づかないなど、国や周辺自治体、報道機関等との協力体制を強化し、連携した情報発信に取り組むことで被害防止を図る。	【中期】引き続き実施	○	市民向け情報発信の発信を強化するため、ホームページのアクセス集中対策、情報伝達手段の更なる多重化に取り組む。	引き続き実施	
					・ホームページをサーバ負荷軽減のため再構築 ・ヤフーとの協定によりキャッシュサイトを構築 ・ＳＮＳによる情報発信の分散 ・携帯電話のない高齢者の固定電話に情報配信	引き続き実施		以下の手段で住民に情報を伝達していく。 ・固定電話への避難情報配信サービス ・戸別受信機 ・緊急告知FMラジオ ・メール配信サービス ・SNS など	引き続き実施					・住民の避難の決断を促すため、危険度の高い地域で、災害時に避難を呼びかける「避難インフルエンサー」を養成。	引き続き実施					・防災行政無線やメール等、様々な手段を用い、迅速かつ的確な情報発信を実施。	引き続き実施		・ヤフーとの協定によりキャッシュサイトを構築 ・ＳＮＳによる情報発信の分散	引き続き実施	
		水位計、空間監視カメラ等の整備によるリアルタイム情報の発信	水位計、監視カメラ等の設置	⑮				・危機管理型水位計の設置	H30年度完了予定	－															
								・危機管理型水位計の設置	H30年度完了																
		浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスク情報の提供	企業、危険物管理施設へのリスク情報の共有	－	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供	引き続き実施					災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供	【長期】					災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供	R1年6月		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供	【中期】H29年度から実施		災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供	【短期】継続中	
					危険物管理施設への立入検査の機会を捉えて、危険物流出防止対策を促している。	引き続き実施	○				防災ラジオや情報メールによる避難勧告等の周知のほかに、対象企業への水位情報等の情報提供	引き続き実施	○				R1年6月に洪水ハザードマップを全戸配布するとともに、市HPにもデータを公開し、浸水リスクの周知を図っていく。	継続	○	・関係各課と連携し、情報提供を実施。	引き続き実施	○	ハザードマップの浸水想定区域等についての情報提供を行っている。	引き続き継続	○
4．グリーンインフラに関連する取組																									
■グリーンインフラに関連する取組																									
		自然環境の保全・復元などの自然再生	レキ河原再生、水際環境の創出、瀬淵の復元	－																					
		治水対策における多自然川づくり	・湿地環境の創出 ・魚道整備による生息環境の連続性確保 ・多様な生物の生息環境への配慮 ・河川景観の保全	－																					
		自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	－													地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援。	【短期】 【中期】 【長期】							
																	長岡河川防災ステーション整備において、平時の賑わい創出等を狙った利活用の可能性を検討 十日町市水防公園、高水敷公園において雑草・雑木等の除去、経常的な維持管理を行い、平時の賑わいやイベント会場としての活用を目指した整備を継続	引き続き実施							
		魅力ある水辺空間・賑わいの創出	水辺の賑わい空間創出	－	「蓮潟地区かわまちづくり」において川表斜面の堤防強化盛土（緩傾斜盛土）と水辺空間を誰もが利用しやすいものとするための公園整備を一体整備する。	整備済																			
					整備済	整備済																			
		生態系ネットワークの形成	大型水鳥のねぐらや採餌場となる浅場や湿地環境の保全・創出	－																					
		流域における対策と合わせた自然再生等	・雨水貯留機能と両立した森林復旧・再生	－																					
		流域における対策と合わせた自然再生等	・水田の雨水貯留機能確保・向上と合わせた良好な田園風景、多様な生息・生育環境の形成	－																					

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（長岡市～魚沼市）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					長岡市			三条市			小千谷市			見附市			十日町市			燕市			魚沼市		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		流域における対策と合わせた自然再生等	・砂防整備と合わせて憩いの場の創出・魚道整備等	－																					

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（南魚沼市～東京電力リニューアブルパワー（株）信濃川事業所）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道（株）信濃川発電所			東北電力(株)長岡発電技術センター			東京電力リニューアブルパワー(株)信濃川事業所		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
1．被害の軽減に向けた治水対策の推進 （河川における対策）																									
	■被災施設等の迅速な復旧																								
		堤防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧		－																					
	■河川水位の低下及び洪水流下断面を向上させるための取組																								
		遊水地等の洪水調節施設の整備	遊水地の整備	①																					
		洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進	大河津分水路の改修																						
			河道掘削 樹木伐採	①																					
			築堤	①																					
	■施設規模を上回る洪水に対する取組																								
		危機管理型ハード対策	堤防裏法尻の補強・天端舗装	②																					
	■既存施設を活用した洪水被害軽減対策																								
		堤防の強化（浸透対策等）	堤防の強化	①																					
		既存の排水機場、ダム、堰などの河川管理施設について、甚なる洪水被害軽減の可能性に着いて検討を行うとともに、必要な対策を実施	既存ダムの事前放流を伴う治水協力	㉔													・国土交通省等と治水協定を締結し、ダム情報について情報共有を行う。 ・治水協定取組み実施（事前放流の実施） ・令和3年の出水にて事前放流を実施	【長期】令和2年5月協定締結 引き続き実施	－	国土交通省等との治水協定を締結。 黒又ダムおよび鈴神ダムについて協定に基づいた事前放流を行う。	【長期】令和2年5月協定締結 引き続き実施	－	○既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取り組み ・治水協定取組み実施（事前放流の実施） ・西大滝ダム、浅沢ダム、穴藤ダム、カッサ川ダムについて上記取り組みに同意。施策を継続する。	2020.5.29～ 引き続き実施	－
			既存の堰等の洪水時における操作改定																						
	■河道・河川管理施設等の適切な維持管理																								
		堤防や堰、水門等の適切な維持管理		－																					

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（南魚沼市～東京電力リニューアブルパワー（株）信濃川事業所）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道（株）信濃川発電所			東北電力(株)長岡発電技術センター			東京電力リニューアブルパワー(株)信濃川事業所		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		河道内の堆積土砂の撤去、樹木の植生管理		－																					
2．地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）																									
	■支流の流出抑制の取組																								
		雨水貯留施設、田んぼダム、透水性舗装の整備等	公園、校庭等の雨水貯留施設の整備	－																					
			田んぼダムの推進	－										農地の多面的機能として位置づけられている田んぼに、一時的に貯留する機能を活用するため、田んぼダムの呼びかけを検討する。 有効な協力の呼びかけ方法、周知も含め実施を検討する	【中期】 引き続き検討	○										
			浸透性舗装、側溝、ますの設置	－																					
			各戸貯留施設の費用補助	－																					
	■支川氾濫抑制、内水被害を軽減する取組																								
		支川水路における氾濫抑制対策	河道掘削	①																					
			雨水渠の流下能力増強																						
		排水機場の整備	排水機場の整備、増設	㉔																					
			放流先の見直し	㉔																					
			排水ポンプ車等の整備	㉔																					

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（南魚沼市～東京電力リニューアブルパワー（株）信濃川事業所）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道（株）信濃川発電所			東北電力（株）長岡発電技術センター			東京電力リニューアブルパワー（株）信濃川事業所		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		排水機場の耐水化の推進	排水機場の耐水化	㉔																					
	■大規模災害時における迅速な復旧支援の取組																								
		緊急復旧などを迅速に行う防災拠点等の整備	河川防災ステーション等の整備	㉕																					
			大規模水害時において大型車両等が通行可能なアクセス網の整備																						
	■土砂災害に対する対策																								
		土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所において人命への著しい被害の防止する砂防堰堤等の整備を実施。	土砂・洪水氾濫への対策																						
		流木や土砂の影響への対策	多数の家屋や重要な施設の土砂・流木の流出による被害を防止するための土砂災害防止施設等の整備を実施。																						
	■森林整備等における対策																								
		上流域における森林整備・保全等	治山対策、森林整備等																						
		保安林の適正な配備等	保安林の維持・管理及び保全	－																					
３．減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）																									
	■住まい方の工夫に関する取り組み																								
		「まちづくり」による水害に強い地域への誘導	都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域へ誘導	－																					
		克雪型住まい（高床式）費用の助成活用の充実	都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域へ誘導	－																					
		不動産関係団体への水害リスク情報と周知協力の推進	不動産関係者への水害リスク情報の提供	－	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 水害リスクに対してハザードマップの情報提供を行っている	【短期】R2年度から実施 引き続き実施	○	【短期】 住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 引き続き実施	引き続き実施	○	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 マップの提供やホームページでの情報提供を実施	引き続き実施	－	住まい方の工夫に関する取組として、不動産関係団体への水害リスク情報の提供と周知協力の推進を図る。 引き続き実施	【短期】 引き続き実施	○									

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（南魚沼市～東京電力リニューアブルパワー（株）信濃川事業所）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道（株）信濃川発電所			東北電力(株)長岡発電技術センター			東京電力リニューアブルパワー(株)信濃川事業所		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
■防災教育や防災知識の普及に関する取組																									
		水害の記憶の伝承	パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信	㉙	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等により、地域防災力の向上を図る。 広報誌等に過去の災害の記事を掲載し、水害リスク等の情報提供を行っている。 防災座談会、防災教育等で過去の水害水害の説明を実施している。	【短期】 継続中 引き続き実施	○	【短期】 防災教育や防災知識の普及に関する取組として、水害の記憶の伝承等により、地域防災力の向上を図る。 県より協力いただき、津南中学校でマイタイムライン作成支援授業の実施。	引き続き実施	○				防災教育や防災知識の普及に関する取組に合わせて過去の弥彦村の水害を紹介し、地域防災力の向上を図る。 広報誌等に過去の災害の記事を掲載し、水害リスク等の情報提供を行っている。 防災講話、防災教育等で過去の水害の説明を実施している。	【短期】 引き続き実施	○									
		マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進	マイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の支援	⑫	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。 住民の防災教育で地域の必要に応じハザードマップを使ったマイタイムラインの紹介・支援の作成協力の広報を行っている。	【短期】 継続中 引き続き実施	○	【短期】 防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でマイ・防災マップ、マイ・タイムライン普及の推進等により、地域防災力の向上を図る。 県より協力いただき、津南中学校でマイタイムライン作成支援授業の実施。	引き続き実施	○				・マイ・タイムライン策定済み ・H29.10　要配慮者利用施設に、ハザードマップの配布（1～10部）を実施。 関係機関と連携した防災行動計画（タイムライン）の整備 災害の激甚化を踏まえて、見直しを行っている。 令和元年台風19号接近時の役場対応の反省点から、避難所内のレイアウトや備蓄品の見直しを行っている。	【短期】 引き続き実施	○									
		地域住民や小中学生等を対象にした防災教育の推進	出前講座による防災教育の実施	㉙	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。 出前講座等を行い、地域住民や小学校を対象とした防災教育を推進等し、地域防災力の向上を図っている。	【短期】 継続中 引き続き実施	○	【短期】 防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。 県より協力いただき、津南中学校でマイタイムライン作成支援授業の実施。	引き続き実施	○	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。 小・中学校等と引き続き実施	引き続き実施	－	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、各地の教育委員会・学校等と連携し、地域住民や小・中学校等を対象とした防災教育の推進等により、地域防災力の向上を図る。 ・地域住民への防災教育 R3.8/5、9/25、9/27、10/23、11/16、R4.1/30 ・弥彦小学校への防災教育 R1.9/19,R2.9/28,10/1,R3.1/22,9/15,R4.1/15	【短期】 引き続き実施	○									
		学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進	避難確保計画の策定と避難訓練の実施	㉙	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。 教育委員会を通じて学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図っている。	【短期】 継続中 引き続き実施		【短期】 防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。 浸水想定区域内要配慮者施設の洪水避難訓練への参加、協力	引き続き実施	○				防災教育や防災知識の普及に関する取組として、学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。 教育委員会を通じて学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進等により、地域防災力の向上を図っている。	【短期】 引き続き実施	○									
		まるごとまちごとハザードマップの推進（浸水深表示）	まるごとまちごとハザードマップの支援	⑪	防災教育や防災知識の普及に関する取組として、「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。 浸水リスクを表示する「まるごとまちごとハザードマップ」等の手法について、ハザードマップでの効果も含め引き続き検討する。	【中期】 引き続き検討	○	【短期】 防災教育や防災知識の普及に関する取組として、地域住民と協働でまちなかに浸水リスクを表示する「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。 引き続き検討	引き続き検討	○				防災教育や防災知識の普及に関する取組として、「まるごとまちごとハザードマップ」推進により、地域防災力向上を図る。 浸水リスクを表示する「まるごとまちごとハザードマップ」等の普及容量について、引き続き検討する。	【短期】 引き続き検討	○									
		豪雨に対応したタイムラインの普及促進	新規・既存タイムラインの作成及び更新	⑪	最新の魚野川のタイムラインを防災座談会などで活用し普及につなげる。 最新の魚野川のタイムラインを防災座談会などで活用し普及を図っている。	【短期】 継続中 引き続き実施	○	【短期】 県十日町地域振興局と作成した前線性出水を対象とした信濃川沿川のタイムラインを活用する。 引き続き実施	引き続き実施	○	関係機関と連携しタイムラインの作成及び更新を実施する。 タイムラインの作成及び更新を引き続き実施する。	引き続き実施	－	関係機関と連携しタイムラインの更新及び住民への普及を実施する。 経年変化等を反映してタイムラインを適時更新するとともに、住民への普及を防災講話等を通じて実施する。	【短期】 引き続き実施	○									
■要配慮者施設の避難に関する取組の推進																									
		地域防災計画への位置付けの推進	施設への指導、支援	⑲	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。 地域防災計画の見直しに伴い、要配慮者利用施設の位置づけを更新し地域防災力の向上を図っている。	【短期】 継続中 引き続き実施	○	【短期】 要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。 R1年地域防災計画改定時に要配慮者利用施設を位置付け		○				要配慮者利用施設の避難に関する取組として、地域防災計画への位置付けの推進等により、地域防災力向上を図る。 地域防災計画の見直しに伴い、要配慮者利用施設の位置づけを更新し地域防災力の向上を図っている。	【短期】 引き続き実施	○									
		避難確保計画の作成と訓練の推進	施設への指導、支援	⑲	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。 福祉部局と連携し、要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等を行っている。	【短期】 継続中 引き続き実施	○	【短期】 要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。 浸水想定区域内要配慮者施設の洪水避難訓練への参加、協力	引き続き実施	○				要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等により、地域防災力の向上を図る。 福祉課と連携し、要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成と訓練の推進等を行っている。	【短期】 引き続き実施（令和４年度中に完成予定）	○									
		避難確保計画の作成につながる講習会の開催	講習会の実施	⑲	要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。 福祉部局と連携し、必要に応じ避難計画の作成に講習等の協力を行う。	【短期】 継続中 引き続き実施	○	【短期】 要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。 浸水想定区域内要配慮者施設職員の水防災学習研修への参加、協力	引き続き実施	○				要配慮者利用施設の避難に関する取組として、避難計画の作成につながる講習会の開催等により、地域防災力の向上を図る。 福祉課と連携し、必要に応じ避難計画の作成に講習等の協力を行う。	【短期】 引き続き実施	○									
■災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組																									
		水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進等による浸水リスク情報の周知	水位周知河川の設定	⑨																					

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（南魚沼市～東京電力リニューアブルパワー（株）信濃川事業所）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道（株）信濃川発電所			東北電力(株)長岡発電技術センター			東京電力リニューアブルパワー(株)信濃川事業所		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進等による浸水リスク情報の周知	浸水想定区域図の作成	⑧																					
			ハザードマップ策定	⑧	台風19号を踏まえた避難所等の見直し等、新たなハザードマップの検討 県管理河川のＬ２想定の浸水想定公表に合わせ、市ホームページのハザードマップに反映している。 Ｌ２想定のハザードマップ保存版の作成と全戸配布を検討する。	【短期】継続中 引き続き実施	○	【短期】 台風19号を踏まえた避難所等の見直し等、新たなハザードマップの検討 引き続き検討	令和2年11月以降	○	台風19号を踏まえた避難所等の見直し等、新たなハザードマップの検討 想定最大規模降雨に対応したハザードマップを作成済み	H29.4作成	－	台風19号を踏まえた避難所等の見直し等、新たなハザードマップの検討 ハザードマップを策定	【短期】 H29年3月完成	○										
			住民への周知	⑧	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。 県管理河川のＬ２想定の浸水想定公表に合わせ、市ホームページのハザードマップに反映し、浸水リスク情報を集中している。 Ｌ２想定のハザードマップ保存版の作成と全戸配布を検討する。	【短期】継続中 引き続き実施	○	【短期】 最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。 引き続き検討	引き続き検討	○	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。 マップの提供やホームページでの情報提供を実施	引き続き実施	－	ハザードマップ周知 ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進 マップの提供やホームページでの情報提供を実施	【短期】 引き続き実施	○										
		支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知	浸水想定区域図の作成	⑧																					
			ハザードマップ策定	⑧	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、支川の氾濫に着目したハザードマップ等の作成・見直しを図り、地域住民等へのリスク情報通知を図る。 魚野川の支川の県管理河川のＬ２想定の浸水想定公表に合わせ、市ホームページのハザードマップに反映する。 Ｌ２想定のハザードマップ保存版の作成と全戸配布を検討する。	【短期】継続中 引き続き実施	○	【短期】 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、支川の氾濫に着目したハザードマップ等の作成・見直しを図り、地域住民等へのリスク情報通知を図る。 引き続き検討	令和3年度以降	○	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、支川の氾濫に着目したハザードマップ等の作成・見直しを図り、地域住民等へのリスク情報通知を図る。 小規模河川の氾監推定図の公表がされたら、ハザードマップを作成する。	引き続き実施	－	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、支川の氾濫に着目したハザードマップ等の作成・見直しを図り、地域住民等へのリスク情報通知を図る。 ため池の氾監推定図を既存のハザードマップに重ね合わせて新たに作成し、関係地区に全戸配布した。	【短期】 R3年9月25日配布	○										
			住民への周知	⑧	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。 魚野川の支川の県管理河川のＬ２想定の浸水想定公表に合わせ、市ホームページのハザードマップに反映し、浸水リスク情報を周知している。 Ｌ２想定のハザードマップ保存版の作成と全戸配布を検討する。	【短期】継続中 引き続き実施	○	【短期】 最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。 引き続き検討	引き続き検討	○	最大級の災害を視野に入れ、市民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。 小規模河川の氾監推定図のハザードマップを作成したい。住民への配布及びホームページ等での情報提供を実施する。	引き続き実施	－	最大級の災害を視野に入れ、住民の避難行動につながる情報提供のあり方を検討し対策を講じる。 小規模河川、特に矢川及び御新田川の氾監推定図のハザードマップが作成したい。住民への配布及びホームページ等での情報提供を実施する。	【短期】 引き続き検討	○										
		土砂災害に関する避難情報の周知	土砂災害警戒区域等の周知・更新	－																					
			土砂災害警戒情報に関するシステムの整備	－																					
		農業用ため池の氾監に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知	ハザードマップ策定																						
		早期避難に向けた精度の高い降雨予測、水位予測体制の検討	予測システムの精度向上	⑨																					
		ケーブルテレビ、SNS等を活用した情報発信の強化	災害情報等の発信	－																					

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（南魚沼市～東京電力リニューアブルパワー（株）信濃川事業所）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道（株）信濃川発電所			東北電力(株)長岡発電技術センター			東京電力リニューアブルパワー(株)信濃川事業所		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		マスメディアとの連携強化	報道機関等への情報提供及び連携	－	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。 地元エフエム局をはじめ報道機関等に対し積極的に、定例及び随時の情報提供を行っている。	【短期】継続中 引き続き実施	○	【短期】 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。 引き続き検討	引き続き検討	○	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。 新潟県総合防災情報システムの活用や地元エフエム局と連携し、情報提供を行う。	引き続き実施	－	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、報道関係機関と連携した情報発信の強化を図る。 地元エフエム局をはじめ報道機関等に対し積極的に、定例及び随時の情報提供を行っている。 日ＳＮＥと防災パートナーシップに関する協定を締結	【短期】 引き続き実施 R3.6/28締結	○											
		住民への情報伝達手段の強化	住民が分かりやすいきめ細やかな情報伝達	⑤																			○関係自治体との連絡体制整備 ・洪水等の際、関係自治体との円滑な情報共有を図るため、緊急時連絡体制の確認等、意見交換を実施。 関係自治体と意見交換をさせて頂き、緊急時等の円滑な情報共有体制の整備を実施。	2021.2～ 引き続き実施	－
		水位計、空間監視カメラ等の整備によるリアルタイム情報の発信	水位計、監視カメラ等の設置	⑮																					
		浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスク情報の提供	企業、危険物管理施設へのリスク情報の共有	－	災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供 企業からのサプライチェーン関係の問い合わせについて適切に情報提供を行っている。	【短期】継続中 引き続き実施	○	【短期】 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供 引き続き検討	引き続き検討	○				災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組として、浸水想定区域における、企業、危険物管理施設への浸水リスクへの情報提供 ハザードマップの浸水想定区域等についての情報提供を行っている。	【短期】 引き続き実施	○										
4．グリーンインフラに関連する取組																									
■グリーンインフラに関連する取組																									
		自然環境の保全・復元などの自然再生	レキ河原再生、水際環境の創出、瀬淵の復元	－																					
		治水対策における多自然川づくり	・湿地環境の創出 ・魚道整備による生息環境の連続性確保 ・多様な生物の生息環境への配慮 ・河川景観の保全	－																					
		自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	自然環境が有する多様な機能活用の取り組み	－	小学校の河川環境学習において、地域にある魚野川につながる川の水質や生物を調査し、身近にある自然を知るとともに、専門的な知識を学び環境に関する理解を深める。また、自然や生き物に触れ合う楽しさを通じて、生命の尊重や自然保護の大切さを学ぶ。 小学校の河川環境学習において、地域にある魚野川につながる川の水質や生物を調査し、身近にある自然を知るとともに、専門的な知識を学び環境に関する理解を深めている。また、自然や生き物に触れ合う楽しさを通じて、生命の尊重や自然保護の大切さを学んでいる。	【中期】【長期】 引き続き実施															・宮中取水ダム魚道整備および維持管理 平成22年～24年に宮中取水ダム魚道を大型・小型の2種類からせせらぎ魚道を追加した3種類の魚道へ改装し、遡生魚を含め多様な魚類が生息・生育する場を提供している。また、年に1度断水し構造物のメンテナンスを行っている。 ・宮中取水ダム魚道観察室整備 宮中取水ダム魚道内に魚道を側面から観察することができる魚道観察室を設け、室内に魚道を通る魚類および魚道の紹介を行うポスターやビデオを整備し、魚類や魚道に触れ合い学習する場を提供している。 上記を今後も継続して実施していく。	【中期】【長期】 引き続き実施										
		魅力ある水辺空間・賑わいの創出	水辺の賑わい空間創出	－	ふれあい魚野川プロジェクト：六日町地区の魚野川において、駐車場やウォーキングロード、桜並木を整備し、毎年イベントを開催して水辺の賑わい空間創出を図る。 六日町地区の魚野川において、駐車場やウォーキングロード、桜並木を整備し、毎年イベントを開催して水辺の賑わい空間創出を図っている。	【中期】【長期】 引き続き実施																					
		生態系ネットワークの形成	大型水鳥のねぐらや採餌場となる浅場や湿地環境の保全・創出	－																					
		流域における対策と合わせた自然再生等	・雨水貯留機能と両立した森林復旧・再生	－																					
		流域における対策と合わせた自然再生等	・水田の雨水貯留機能確保・向上と合わせた良好な田園風景、多様な生息・生育環境の形成	－																					

信濃川水系（信濃川中流）流域治水プロジェクト取組施策一覧
（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト含む）

凡例：完了しているものは青字、継続中のものは緑字、未対応のものは赤字で記載する。

（南魚沼市～東京電力リニューアブルパワー（株）信濃川事業所）

「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す取組					南魚沼市			津南町			湯沢町			弥彦村			東日本旅客鉄道（株）信濃川発電所			東北電力（株）長岡発電技術センター			東京電力リニューアブルパワー（株）信濃川事業所		
項目	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	減災目標達成のための取組	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト	実施内容	時期	緊急治水対策プロジェクト
		流域における対策と合わせた自然再生等	・砂防整備と合わせて憩いの場の創出・魚道整備等	－																					